

令和

6

年度 第

2 学年

美術科

年間指導計画

●黄色いセルに入力可能です

● はブルダウンバーから選択します。

作成担当者名 教諭 後藤幸来

使用教科図書 (学校教育法附則第9条 の規定による)	なし	使用 副教材	自作教材
----------------------------------	----	-----------	------

目標	美術の創造活動について、感性や想像力を働かせながら、多彩な表現方法や技能、考え方を養うとともに、創造活動に取り組み、親しむ態度を身に付ける。
----	--

月	単元題材	指導 期間	単元 担当		目標	主な学習内容	指導内容表
4 ・ 5	・オリエンテーション ・絵画	4月 5月	後藤	技知 能識	立体感を出すように描くことができる	・構図や鉛筆の使用法の 練習をする ・構図を決め、対象を撮影 ・撮影した図を基に明暗を意識しながら、 細密デッサンを進める ・鑑賞	描く・塗る A1-1、3、 A2-3 B1-1 技術 D1-1 D2-7、9 鑑賞 E1-3
				思判 表	画面の大きさに合わせて描くことができ る		
				態 度	自分の作品について簡単に発表できる		
6 ・ 7	・デザイン	6月 7月	後藤	技知 能識	全体と部分の関係を理解し、多様な表し 方を工夫できる。	・「エリックカール」と「ディックブルー ナ」の違いについてグループで意見交 流 ・美しさには色々なものがあることを全体で 確認 ・「レタリング」について知る/練習 ・下描き、アイディアスケッチ ・アイディアスケッチを基に制作する ・自分の作品について簡単に発表する	描く・塗る A1-1・2、A2-1～3 デザイン・構成 B1-1～3 B1-1 技術 D1-1 D2-7、9 鑑賞 E1-3
				思判 表	造形的な美しさについて考え、自分の表 現したい作品のイメージが持てる。		
				態 度	進んで表現や鑑賞の活動に取り組む		
8 ・ 9 ・ 10	・各種表現技法 ・版画、篆刻 ・プロダクトデザイン	8月 9月 10月	後藤	技知 能識	各種表現技法の手順が分かる	・題材テーマ追及 ・各種表現技法の制作手順を確認 ・アイディアスケッチをする ・コピーレタリングや構成を決める ・下描き ・彩色 ・鑑賞	描く・塗る A2-3、7、10、11 デザイン・構成 B1-1、2、3 B2-4 技術 D1-1 D2-7、8、9 鑑賞 E1-3
				思判 表	自分の好きな表現技法を選択し、 組み合わせで表現できる		
				態 度	技法の良さを感じ取り、意欲的に取 り組む		
10 ・ 11	・プロダクトデザイン	10月 11月	後藤	技知 能識	意図に応じて表現方法や素材の適性を 考えて創意工夫することができる。	・色々なラベルについて知る ・ラベルの長さ、幅を決める ・ラベルを描く	描く・塗る A1-1～3 デザイン構成 B2-1、B2-3 技術 C1-1、D1-1
				思判 表	素材の活用や使用イメージ(場所・場 面)を考え、客観的に主題を生み出すこ とができる。		
				態 度	意図に応じて工夫し、見直しをもって意 欲的に制作できる。		
12	・工芸	12月	後藤	技知 能識	制作の手順を理解し、道具を安全に正 しく使用できる	・土鈴の製作工程を知る ・アイディアスケッチをする ・スケッチをもとに制作 ・鑑賞	デザイン・構成 B1-1 B2-2、6、7、8、15 技術 D1-1、3 D2-9、11、15 鑑賞 E1-2、3、4
				思判 表	立体全体のバランスを考えて制作できる		
				態 度	他者の作品のよいところを見つけられる		
1	・工芸	1月	後藤	技知 能識	七宝焼きの制作工程が理解できる	・七宝焼きの歴史について知る ・手順を確認する。 ・デザインを決める。 ・鑑賞	描く・塗る A1-7、9 A2-2 デザイン・構成 B1-1 B2-1、3、15 技術 D1-1、3 D2-9、11、13 鑑賞 E1-1、3、4 E2-1、
				思判 表	魚をイメージして配色したり、構成したり できる		
				態 度	熱を持った素材を丁寧に扱うことができ る		
2 ・ 3	・映像メディア	2月 3月	後藤	技知 能識	アニメーションの歴史や原理を理解 し、簡単なアニメーションを制作で きる	・アニメーションの歴史や原理を知る ・色々なこまどりアニメを鑑賞 ・パラパラ漫画の原理を利用し、こまどりア ニメを作成する ・各グループで発表	技術その他 D2-1～3、 鑑賞 E1=1～4 E2-4
				思判 表	主題に合ったポーズや構成を考え、 組み合わせ方等を構想している		
				態 度	自分の作品の意図を簡単に発表でき る		

令和 6 年度

2 学年

美術科

シラバス

年間目標		美術の創造活動について、感性や想像力を働かせながら、多彩な表現方法や技能、考え方を養うとともに、創造活動に取り組み、親しむ態度を身に付ける。		
	単元題材	目標		学習内容
4 ・ 5	・オリエンテーション ・絵画	知識・技能	立体感を出すように描くことができる	・構図や鉛筆の使用法の練習をする ・構図を決め、対象を撮影 ・撮影した図を基に明暗を意識しながら、細密デッサンを進める ・鑑賞
		思考力・判断力・表現力等	画面の大きさに合わせて描くことができる	
		学びに向かう力、人間性	自分の作品について簡単に発表できる	
6 ・ 7	・デザイン	知識・技能	全体と部分の関係を理解し、多様な表し方を工夫できる。	・「エタラックグループ」と「アイスクラグループ」の違いについてグループで意見交流 ・美しさには色々なものがあることを全体で確認 ・「レタリング」について知る/練習 ・下描き、アイディアスケッチ ・アイディアスケッチを基に制作する ・自分の作品について簡単に発表する
		思考力・判断力・表現力等	造形的な美しさについて考え、自分の表現したい作品のイメージが持てる。	
		学びに向かう力、人間性	進んで表現や鑑賞の活動に取り組む	
8 ・ 9 ・ 10	・各種表現技法 ・版画、篆刻 ・プロダクトデザイン	知識・技能	各種表現技法の手順が分かる	・題材テーマ追及 ・各種表現技法の制作手順を確認 ・アイディアスケッチをする ・コピーレタリングや構成を決める ・下描き ・彩色 ・鑑賞
		思考力・判断力・表現力等	自分の好きな表現技法を選択し、組み合わせて表現できる	
		学びに向かう力、人間性	技法の良さを感じ取り、意欲的に取り組む	
10 ・ 11	・プロダクトデザイン	知識・技能	意図に応じて表現方法や素材の適性を考えて創意工夫することができる。	・色々なラベルについて知る ・ラベルの長さ、幅を決める ・ラベルを描く
		思考力・判断力・表現力等	素材の活用や使用イメージ（場所・場面）を考え、客観的に主題を生み出すことができる。	
		学びに向かう力、人間性	意図に応じて工夫し、見通しをもって意欲的に制作できる。	
12	・工芸	知識・技能	制作の手順を理解し、道具を安全に正しく使用できる	・土鈴の製作工程を知る ・アイディアスケッチをする ・スケッチをもとに制作 ・鑑賞
		思考力・判断力・表現力等	立体全体のバランスを考えて制作できる	
		学びに向かう力、人間性	他者の作品のよいところを見つけられる	
1	・工芸	知識・技能	七宝焼きの制作工程が理解できる	・七宝焼きの歴史について知る ・手順を確認する。 ・デザインを決める。 ・鑑賞
		思考力・判断力・表現力等	魚をイメージして配色したり、構成したりできる	
		学びに向かう力、人間性	熱を持った素材を丁寧に扱うことができる	
2 ・ 3	・映像メディア	知識・技能	アニメーションの歴史や原理を理解し、簡単なアニメーションを制作できる	・アニメーションの歴史や原理を知る ・色々なこまどりアニメを鑑賞 ・バラバラ漫画の原理を利用し、こまどりアニメを作成する ・各グループで発表
		思考力・判断力・表現力等	主題に合ったポーズや構成を考え、組み合わせ方等を構想している	
		学びに向かう力、人間性	自分の作品の意図を簡単に発表できる	